

早瀬青波邸のご案内

日本の伝統的な木造邸宅を改修した宿です
船に乗る七福神の鬼瓦や随所に波の装飾を施した家であり早瀬の青い海と掛け合わせて、早瀬青波邸と名付けました
広い玄関と日本庭園に面した居室、昔ながらの台所、居間、畳の居間、長い廊下に連続する窓など日本の伝統的な家の要素が詰まっています
集落に溶け込み、日本人の日々の営みを感じるこの邸宅を美浜町散策の拠点とし、もう一つの我が家のようにお寛ぎいただける場所となれたらという願いを込めてつくりました



お食事について

お好きな食材をお持ち込みいただき調理していただけます。福井県産食材等の事前調達についてご相談賜ります。

周辺お食事所・ショップ



道の駅 若狭美浜はまびより
美浜町松原35-15-1 TEL 0770-47-5850
<https://hamabiyori.com/>



九十百千(こともち)
美浜町久々子 72-1 TEL 0770-32-3339
<https://kotomochi.com/>



へしこ茶屋(要予約)
TEL 0770-32-0361

ガイドツアーのご案内

日本に魅せられ美浜を知り尽くしたフランス人ジュリアン・ジーリがあなたのための特別なガイドツアーをプランニング・アテンドいたします。

ジュリアン・ジーリ プロフィール

フランスリヨン生まれ 初来日2017年
写真家・フリージャーナリスト、早瀬青波邸管理人
日本の100か所の観光地を自費で巡り、写真と文章で紹介するサイトNippon100 運営
その後Nippon100を書籍化、続いて日本のプロダクトに焦点を置いた日本のもの100選 書籍化
日本エコ・エシカル旅行ガイド(JNTO後援) 執筆
パートナーのオーレリ・ロベシュと二人の子供たちと4人で2023年に早瀬へ移住し早瀬および福井県のインバウンドガイドツアーおよびジャーナリストとして執筆活動も行う
日本各地を訪れる主にヨーロッパ圏のお客様向けツアーコンサルタントとしても活動
2024年 Target JAMMを設立



連絡先 070-1382-6016 info@target-inc.jp

TARGET
JAMM

●福井県 三方郡美浜町 心に響く本物の日本の一隅

現代では美浜町の沿岸部の一集落となっている早瀬は、かつて、この地域の中核として栄えた港町でした。
鉄道や自動車普及する以前、日本海沿岸が陸の孤島だった時代、早瀬は漁業と商業航海の重要な拠点として、また地域の交通の結節点として重要な役割を担っていました。

H A Y A S E

早瀬

株式会社 TARGET JAMM

www.target-inc.jp/jamm

〒919-1124 福井県三方郡美浜町早瀬13-59 代表者：ジュリアン・ジーリ (Julien Giry)

美浜町 早瀬MAP



旅のグルメ | 美浜町早瀬の美味しい「食」をご紹介します

美浜町の伝統料理「へしこ料理」

美浜町の伝統的な保存食「へしこ」は、江戸時代中期から冬の貴重なタンパク源として親しまれてきた魚のぬか漬けです。鯖などを二段階で漬け込み、独自の調味料と米糠で約1年かけて熟成させる発酵食品で、炙りや刺身など様々な料理に活用されています。2005年に「へしこの町」として商標登録され、町の誇る伝統食として知られています。

若狭地方に伝わる伝統食：へしこ

福井県美浜町観光PRキャラクター「へしこちゃん」

E 酒蔵の銘酒「早瀬浦」

美浜町の早瀬集落は、北前船の寄港地として栄えた由緒ある漁村です。かつては1,200人が暮らし、料亭や旅館が並ぶ賑わいを見せました。なまこ壁の土蔵や町家が往時の繁栄を伝える街並みには、創業享保3年(1718年)から約300年にわたり酒造りを手掛けてきた三宅彦右衛門酒造があります。仕込みに使われる水は、海のミネラル分を豊富に含んだ早瀬の井戸水です。芳醇な旨味とキリリとした後味が特徴です。

銘酒「早瀬浦」

早瀬の歴史

この地の歴史は、北前船とともに歩んできたと言えるでしょう。20世紀初頭まで日本の経済動脈として活躍した北前船は、日本海を渡って北海道と大阪を結び、往復の航路で様々な商品運びました。早瀬の複数の家族が船主として活躍し、この港に寄港する大型帆船は、日本全国の文化の断片を運び込んできました。

早瀬の文化

久々子湖の河口に位置し、早瀬川を通じて日本海とつながる早瀬は、三方五湖周辺に暮らすすべての人々の買い物の中心地でした。人々は船を係留し、思い思いに買い物を楽しんだといひます。18世紀から続く由緒ある酒蔵は今でも「早瀬浦」という銘酒を醸しており、かつてはこの地に劇場も立ち並び、文化の香り高い町でした。

A 三方五湖レインボーライン

レインボーライン山頂公園には、三方五湖と若狭湾の絶景を一望できる5つのテラスが点在します。中でも「天空のテラス」は、五つの湖と日本海の大パノラマを楽しめる全天候型の人気スポット。壮大な眺めを楽しみながらくつろげる「天空の足湯」も備えた注目の観光名所です。

天空の足湯

クールジャパンアワード2019年
インバウンドカテゴリ受賞
「三方五湖レインボーライン山頂公園足湯の展望台」

B 子供歌舞伎 (現在は5月3日に開催)

美浜町早瀬に受け継がれる「子供歌舞伎」は、約150年前、コレラ流行時に疫病退散を願って始まった伝統芸能です。瑞林寺の方丈が神仏からのお告げを受け、寺に子供歌舞伎を奉納したところ疫病が収まったといひます。以来、毎年5月3日の日吉神社大祭では、男子小学生による歌舞伎が披露され、地域の大切な文化として守り継がれています。

子供歌舞伎

C 早瀬の水無月祭り

美浜町早瀬地区内の日吉神社と水月(水無月)神社の祭礼が毎年7月下旬に2日間にわたり開催されます。夕方に水無月広場で盆踊り大会などが繰り広げられ夜店が立ち並び、お祭りは賑わいます。早瀬町ではここ数年、重さ1.8トンの神輿を担ぐ人が不足し祭りが縮小されつつあり、現在では二つの神社間を子供神輿のみが担がれています。

水無月祭り

水月神社

D 古民家宿 早瀬青波邸

全国古民家協会監修の地震対策を施した早瀬の古民家を民泊施設として整備。三方五湖の自然、日向湖畔の漁村の風景、佐柿地区の歴史的な街並みなど、美浜町の魅力を体験できる滞在型観光プログラムを展開し、農林漁業体験や地域住民との交流を通じて、地域の新たな経済復興を目指します。

早瀬古民家(庭)

早瀬古民家(茶室)

早瀬の豊かな海

江戸時代、ここで水揚げされたサバは京の都の御所に献上される上質なものでした。また、都人の家族たちが海水浴を楽しむ避暑地としても知られ、古都との深い絆が育まれていきました。その文化的・情緒的なつながりは、今日でも京言葉を基調とする方言や、5月の子供歌舞伎をはじめとする年間を通じた数々の祭りに脈々と息づいています。

F 再生可能エネルギーで航行する電波推進遊覧船

美浜町レイクセンターの「電池推進遊覧船」は、ラムサール条約湿地・日本農業遺産の三方五湖を巡る環境配慮型の観光船です。施設の太陽光パネルで発電した電力のみで運航し、自動運航システムの導入も視野に入れた先進的な取り組みとして注目を集めています。

電気推進遊覧船

©美浜町レイクセンター

G 日本遺産「北前船」

2024年、美浜町は「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の日本遺産に追加認定されました。江戸時代中頃から明治期にかけて日本海を往来した北前船は、各寄港地で商品売買を行う商船として一攫千金を夢見て荒波に挑みました。その往来は経済だけでなく、北海道の昆布文化を西日本にもたらすなど、日本の文化交流に大きな影響を残しています。

日本遺産「北前船」

日本遺産

H 三方五湖サイクリングコース「ゴコイチ」

美しい五つの湖を一周する三方五湖サイクリングコースは、湖畔をすぐそばに感じながら爽快に走れる人気ルートです。久々子湖、水月湖、菅湖、三方湖、日向湖それぞれの個性的な表情を楽しみながら、なだらかな道を進むことができ、途中には絶景スポットも点在する初心者向けのコースです。

三方五湖サイクリングコース「ゴコイチ」

©若狭美浜観光協会

早瀬の町並み

しかし、21世紀を迎えた早瀬の姿は、高齢化と人口流出に直面する日本の農山漁村の縮図といえます。海と湖と山に囲まれた地形ゆえに集落の拡大は難しく、むしろ自然が徐々にその領域を取り戻しつつあります。しかし、町の通りを歩けば、静謐な田舎町の鼓動と、驚くべき歴史遺産の豊かさを肌で感じるすることができます。